

「コロナ禍における調剤薬局での吸入指導に関する調査」 について

加古川中央市民病院では、現在、調剤薬局の薬剤師を対象に下記の研究を実施しております。
尚、この研究についてご質問がございましたら、最後に記しております【問い合わせ窓口】まで連絡ください。

【研究の概要及び利用目的】

気管支喘息・COPDに対する治療薬は吸入手技やアドヒアランスによって治療効果は大きく異なるため、調剤薬局での吸入指導は病状コントロールに非常に重要な役割を占めています。新型コロナウイルス感染症の流行によりソーシャルディスタンスが求められたため十分に吸入指導の時間が取れていないと考えられます。また薬剤師に対する吸入指導勉強会も定期的には開けていません。それゆえ、吸入指導に関する現状の把握が必要です。

今回、調剤薬局の薬剤師に対して、コロナ禍が吸入指導にどう影響を与えたか、それにどう工夫しているかのアンケート調査をします。Webによる吸入指導勉強会は2022年8月より再開しており、次回の2023年1月の開催でアンケート調査結果をフィードバックする予定です。治療効果の向上を目指すだけでなく地域の吸入指導のレベル向上に貢献することを目的とします。

【研究実施期間】

研究実施期間：院長承認日～2023年6月30日

【取り扱うデータおよび試料・情報の項目】

播磨薬剤師会に属する調剤薬局の薬剤師を対象におこなったアンケート調査より、

- ① 経験年数、吸入指導勉強会参加回数
- ② 吸入指導にかかる時間、対象
- ③ 吸入指導で行っている工夫
- ④ 自由記載項目

【個人情報保護の方法】

研究実施にかかる個人データなどの既存情報を取り扱う際は、個人情報とは無関係の番号を付して研究対象者識別番号リストを作成し、連結可能匿名化を行い秘密保護に十分配慮いたします。研究対象者識別番号リストは研究に参加している研究責任者が厳格に管理し、研究の結果を公表する際は個人を特定できる情報を含まないように留意します。

研究の目的以外に研究で得られたデータは使用しません。

【データおよび試料提供による利益・不利益】

利益：個人には特に利益になるようなことはありません。しかし、本研究への参加を通じて、医学の発展や社会全体の医療水準の向上に貢献することになります。

不利益：特に不利益はありません。

【登録終了後のデータおよび試薬の取り扱い】

採取したデータ等は少なくとも本研究の終了報告から5年を経過した日または本研究の結果の最終の公表について報告された日から3年を経過したいずれか遅い日までの期間、施設可能な場所で適切に保管します。研究対象者識別番号リストを保管する場合も同様に保管します。対象者及びその家族等から研究参加拒否または同意撤回があった場合には、その対象者に関するデータはすみやかに廃棄いたします。

【研究成果の公表】

研究成果は学術目的のため論文や学会等で発表されることがありますが、その際も個人を特定する情報は公表いたしません。

【研究へのデータ使用の取りやめ】

情報の研究利用の拒否および同意の撤回はいつでも可能ですので、下記問い合わせ窓口にご連絡ください。しかし、すでに研究成果が論文などで公表されていた場合は廃棄できません。

尚、拒否および同意撤回による不利益は一切生じません。

【情報の提供を行う機関の名称及び管理責任者の氏名】

加古川中央市民病院 院長 大西 祥男

【問い合わせ窓口】

この研究の問い合わせだけでなく、データが本研究に用いられているかどうかお知りになりたい場合や、データの使用を望まれない場合など、この研究に関することは、どうぞ下記の窓口までお問い合わせください。

加古川中央市民病院 呼吸器内科

主任科部長 西馬 照明

連絡先：079-451-5500